

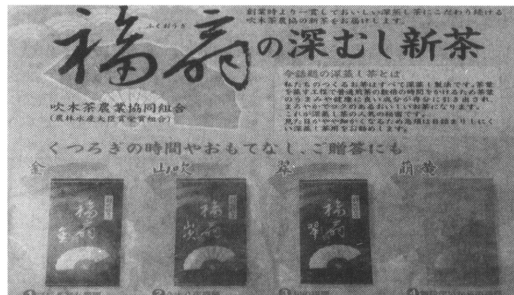
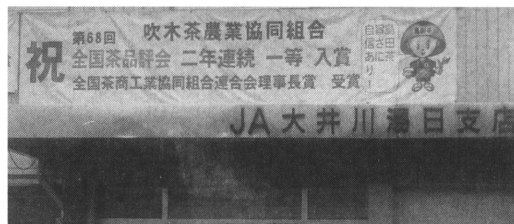
<産地レポート>

「JAおおいがわ吹木茶農協」の 良質深蒸し茶栽培における施肥体系レポート



JAおおいがわ湯日支店

係 長 樋 澤 禎 行



静岡県は全国一位の茶産地です。中でも島田市湯日地区の深蒸し茶は鮮やかな色とほんのりとした渋味を持ち多くの方に好まれる味わい深いお茶です。

県中部の島田市に位置するJAおおいがわ管内の吹木（ふくおぎ）茶農協は全国茶品評会にて二年連続一等入賞を獲得した茶農協です。

増田尚士組合長を始め総勢21戸の組合員で約45haの茶園を管理しています。

近年急須でお茶を飲む家庭が激減し需要は低迷しておりますが、味わい深い良質茶を栽培し消費者にお届けすることを心がけ日々栽培・生産に取り組む茶のネット販売にも注力しております。

当茶農協は茶葉の統一性を図るために組合員は同一の施肥設計で栽培しており、春には「ヨーデル（くみあいジシアン燐硝安加里特S046、20-4-6）」を施肥しています。

「ヨーデル」は硝化抑制剤ジシアンジアミドが入っており良質茶栽培に欠かせないアンモニア態チツソでの供給と硝酸態チツソでの供給をバランスよく行います。「ヨーデル」導入から3年、今は良質茶栽培の良きパートナーとなっております。

また、静岡県の茶園は傾斜地が多く施肥体系の省力化も欠かせません。

4～5年に一度の台切り更新園にはエコロン426-140（くみあい被覆燐硝安加里エコロン426-140号、24-2-6）を樹上から全層施肥し効果的に肥料成分を供給しています。

エコロンも5年ほど愛用し欠かせない肥料となっております。

